LIXIL

JZZ641602B

取付説明書

屋外用トランス電源ユニット 20/35/70/105W

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

⚠ 警告
・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意
・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い
・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

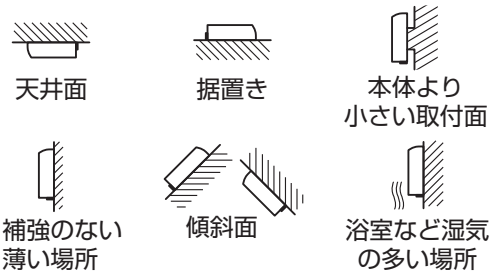
ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。（例：1a、1b、2a等）
締結部品の種類は「 **■ 梱包明細表** 」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

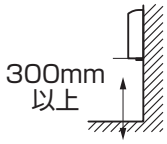
施工の前に

⚠ 警告

●不適切な場所への設置は、火災、感電、落下、破損のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・天井面、傾斜面、据置き、本体より小さな取付け面、補強されていない面、湿気の多い場所へ設置しないでください。



・地面より 300mm 以上離した位置に取付けてください。(冠水時対策)



・給湯、暖房機器等の排気熱が直接当たる場所に設置しないでください。
・燃えやすいものの近くに設置しないでください。
●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。

施工上のお願い

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みいただき、施工してください。
●日常的に使用する動線範囲内に配線する場合、つまづき等のおそれがあります。設置に関しては施主様と地上･地中配線をご相談ください。
●梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●室内入切スイッチにて制御をする場合は、入切機能のみのスイッチを使用してください。(調光機能付きなどは使用できません。)
●1端子当たり電源線1本の接続にしてください。カバーが最後まで閉まらない可能性があります。
●設置環境によっては明るさセンサーが正しく動作しない場合がありますので、設置場所を確認してください。
※明るさ感度「標準：2」で正しく動作しない場合は「暗：3」に変更してください。
※"家と家との間"や"壁の裏"など日が当たりにくい場所に設置する場合は
「暗：3」の設定にしてください。
※明るさ感度の変更に伴い、点灯、消灯するタイミングが変更となりますので、ご理解願います。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

施工上のご注意

⚠ 警告

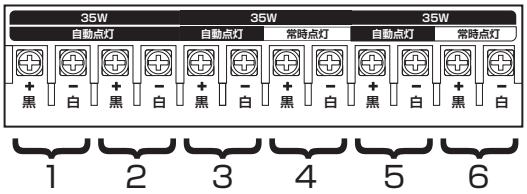
●火災、感電のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・差し込みプラグの切断など器具の改造はしないでください。
・差し込みプラグを抜いた状態で取付けてください。

⚠ 注意

●ねじは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
＜推奨トルク＞
φ4ねじ:2.5N·m±0.5N·m（25±5kgf·cm）
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●「設定表示」に以下のメッセージが表示された場合、漏電の可能性がありますので、施工を確認してください。

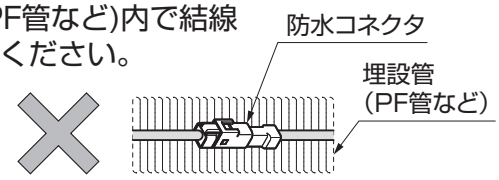
E→L→1：1・2回路目が漏電
E→L→2：3・4回路目が漏電
E→L→3：5・6回路目が漏電

例)105Wの場合



施工上のお願い

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●施工中についた汚れは取除いてください。
●埋設管(PF管など)内で結線しないでください。



電気配線工事について

⚠ 警告

●1次電源（AC100V）の結線、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
●火災、感電、故障のおそれがありますので、下記事項をお守りください
・AC100V 以外を入力しないでください。
・接続できる灯具は、DC12V 仕様のみです。
・電源ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
・電源ケーブルに重いものをのせて挟まれた状態にしないでください。
・接続する灯具数は、トランス電源の接続容量以内にしてください。
・プラグレス仕様の場合、電源線を奥まで十分に差し込んでください。また、接続部は自己融着テープとビニルテープ巻きなどで防水処理してください。
・濡れた手で差し込みプラグの抜き差しをしないでください。
・回路部分に雨水などが入らないよう、カバーは必ず閉めた状態でお使いください。

施工チェックシート

※施工時に下記を必ずご確認ください。この項目を守らないと不具合発生につながります。

No.	チェック内容	
1	端子台接続時、黒(+)白(−)を確認してください。	□
2	Y端子ケーブルが端子台にゆるみなく取り付いているか確認してください。	□

No.	チェック内容	
3	施工完了後、カバーがカチッと音がするまで閉め、本体とカバーの下面が合っていることを確認してください。	□
4	施工時の誤作動についての対処は右記二次元コードを読み取り、内容を確認してください。	□

梱包明細表

【1】トランス電源ユニット 20W/35W/70W/105W

名　称	略　図	員　数			
		20W	35W	70W	105W
トランス電源ユニット20W プラグ付・プラグレス		1	—	—	—
トランス電源ユニット35W プラグ付・プラグレス		—	1	—	—
トランス電源ユニット70W プラグ付・プラグレス		—	—	1	—
トランス電源ユニット105W プラグ付・プラグレス		—	—	—	1
結束バンド		6(4)	6(3)	6(2)	6
【1a】φ4×40十字穴付フランジ付タッピンねじ		3	3	3	3
【1b】フィッシャープラグS6		3	3	3	3
【1c】スペーサー		1	1	1	1
取付説明書【EXM-199】	−	1	1	1	1
取扱説明書【EXM-200】	−	1	1	1	1

※( )内の員数は予備

【2】ワンタッチロック

名　称	略　図	員　数
ワンタッチロック 直継用		4(※)

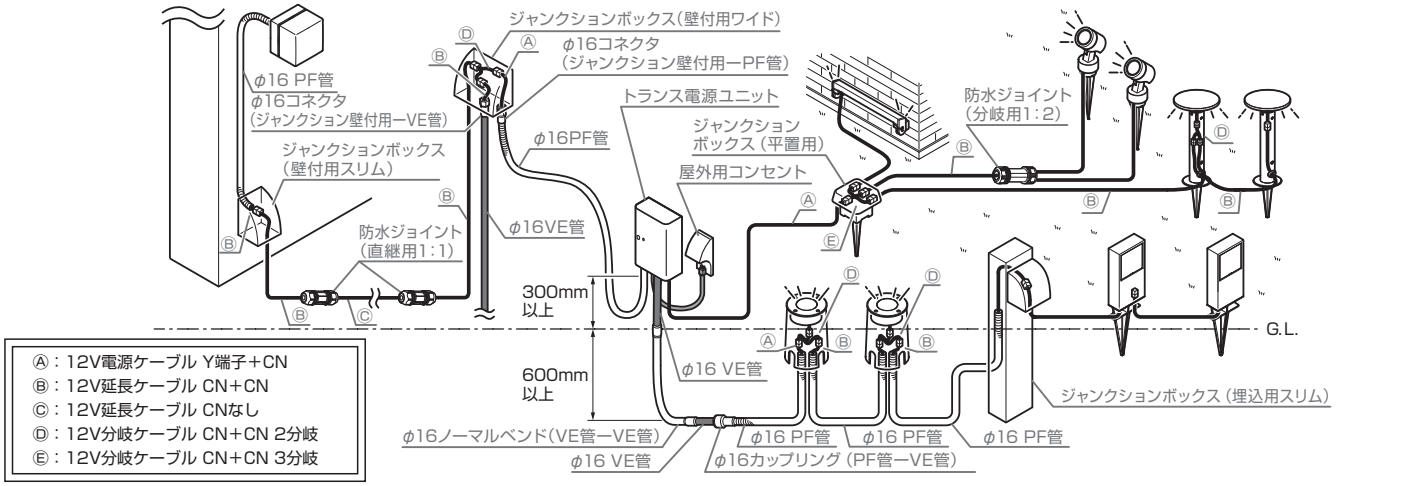
※予備2個

【3】トランス電源用スタンド

名　称	略　図	員　数
スタンド本体		1
スタンドベース		1
【3a】φ5×20皿タッピンねじ3種		2
【3b】φ4×20トラスタッピンねじ3種		3
【3c】M4平座金		3

1 配線参考図

※地中配管(コンクリートやモルタルで埋設)する場合、メンテナンスを考慮し埋設管を使用して敷設してください。



施工上のお願い

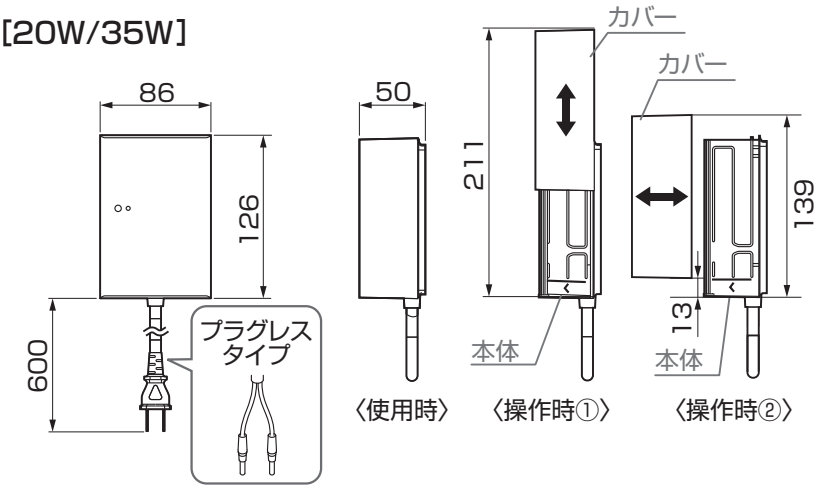
●地中配管の場合、車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
●トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。
●室内入切スイッチにて制御をする場合は、入切機能のみのスイッチを使用してください。(調光機能付きなどは使用できません。)

2 基本寸法と各部の名称・電圧降下

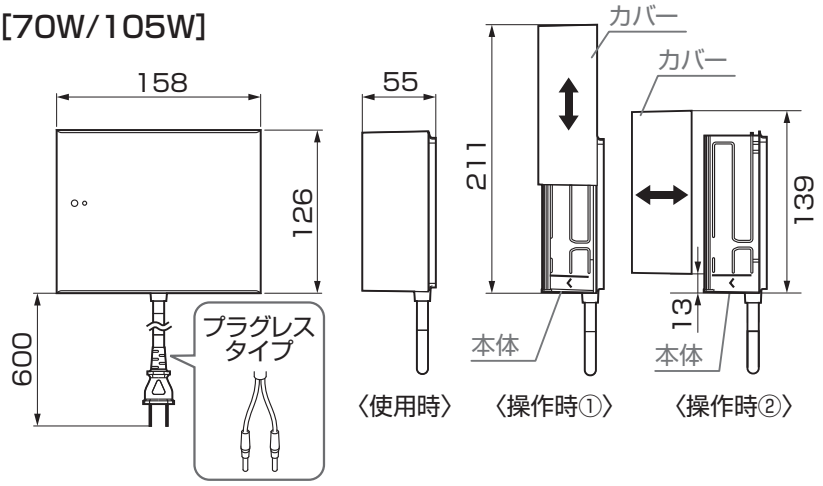
基本寸法と各部の名称

■基本寸法

[20W/35W]

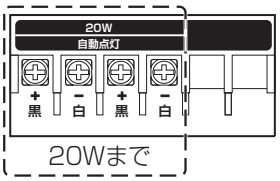


[70W/105W]

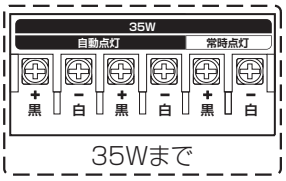


■端子台

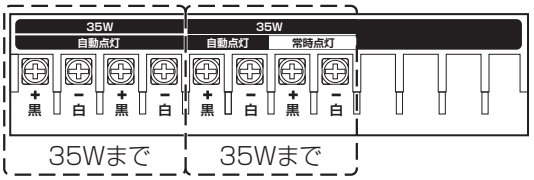
[20W] 2回路



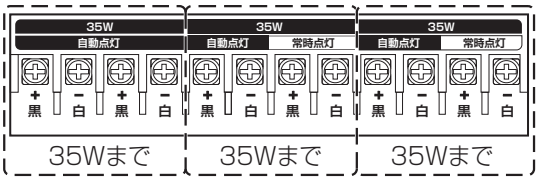
[35W] 3回路



[70W] 4回路



[105W] 6回路



■仕様一覧

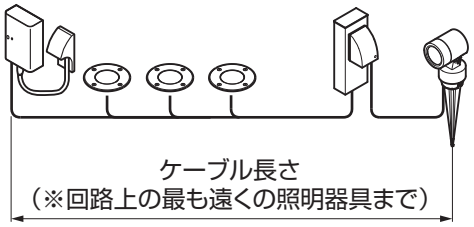
	20W	35W	70W	105W
サイズ(mm)	幅86×高さ126×出幅50		幅158×高さ126×出幅55	
重量(kg)	約0.4kg	約0.4kg	約0.7kg	約0.9kg
負荷接続容量	最大20Wまで	最大35Wまで	最大70Wまで	最大105Wまで(※)
入力電源電圧	AC100V			
周波数	50/60Hz共用			
出力電圧	DC12V			
電源線長	約600mm			
自動点灯回路	2回路	2回路	3回路	4回路
常時点灯回路	―	1回路	1回路	2回路
配線引出孔	2孔	2孔	4孔	4孔
スイッチ	・電源（入/切） ・タイマー設定 ・明るさ感度設定			

※1区分あたりの最大接続容量は35Wまでです。

施工上のお願い

- ●操作時、カバーのポジションは2パターンあります。②ができるようカバー上部から20㎜以上空間を空けてください。
- ●1区分あたりの最大接続容量は35Wまでです。
- ●容量を超えて接続すると、照明が暗くなったり、器具寿命低下につながります。必ず容量内で接続してください。
- ●35/70/105Wには「常時点灯回路」があります。明るさセンサ制御ではありませんので、接続時にご注意ください。
- ●1端子当たり電源線1本の接続にしてください。カバーが最後まで閉まらない可能性があります。

電圧降下について



電源ケーブルの長さに乗じて電圧降下が発生します。以下の計算式を使用して、電圧降下量が1.5V以下になるようにしてください。

●電圧降下の計算式

■ケーブルVCTF 1.25sq2心の場合

電圧降下(V)＝ 0.00252(V) × ケーブル長さ(m) × 消費電力(W)＝1.5(V)以下

■ケーブルVCTF 2.0sq2心の場合

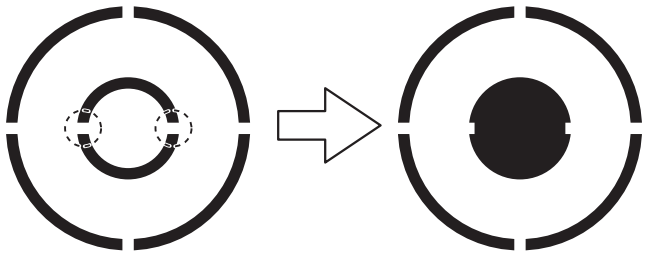
電圧降下(V)＝ 0.00163(V) × ケーブル長さ(m) × 消費電力(W)＝1.5(V)以下

3 トランス電源ユニットの取付け

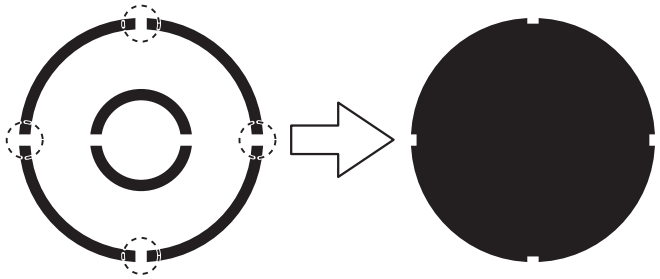
3-1 配線引出孔の加工

1:トランスの底面部にある配線引出孔をニッパーやペンチでゲート(点線丸部)をカット

■ 配管部材を使用しない場合



■ 配管部材を使用する場合



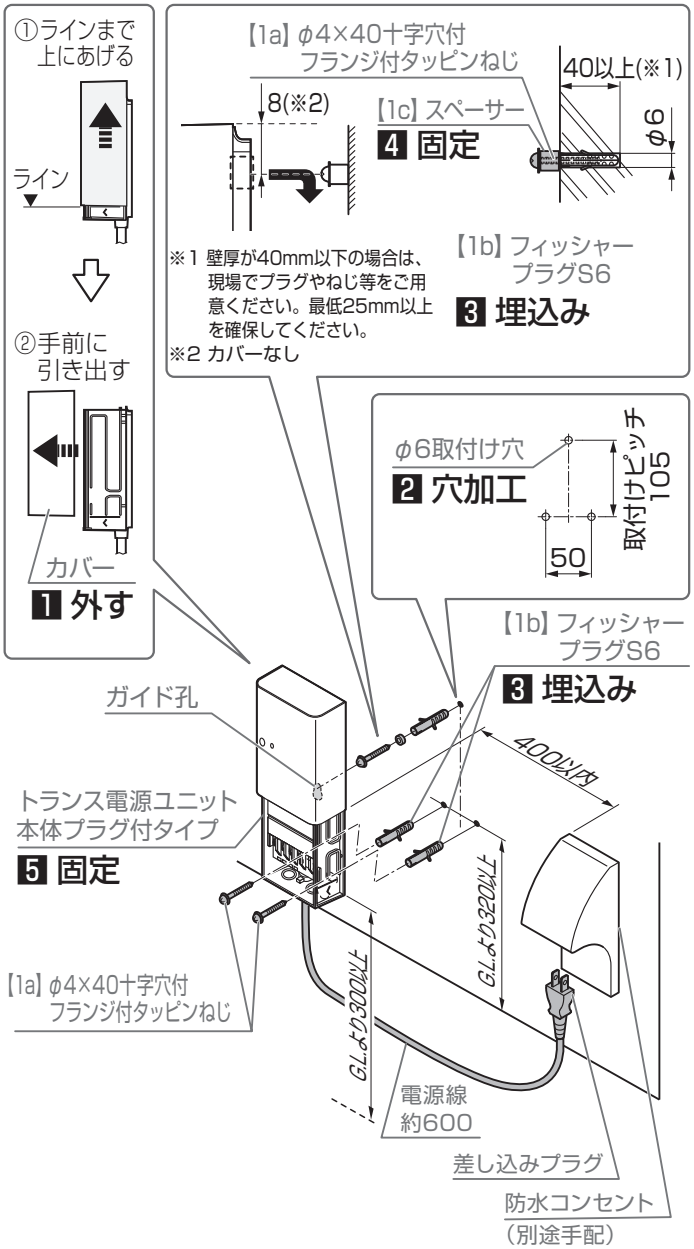
施工上のお願い

●必要部分をカットしてください。

3-2 プラグ付タイプの場合

※以下手順はモルタル、ブロック壁等の場合です。上記躯体以外に設置する場合は適当な下穴をあけてねじ固定してください。

1:カバーを本体から外す
2:トランス電源ユニット本体を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置にφ6の下穴加工(深さ40mm以上)
3:【1b】を下穴に埋込み
4:【1a】で【1c】を壁に固定
5:トランス電源ユニット本体裏面上部のガイド孔に【1c】をはめ込み、【1a】で壁に固定



⚠ 警 告

●火災、感電のおそれがあるため、器具の改造はしないでください。

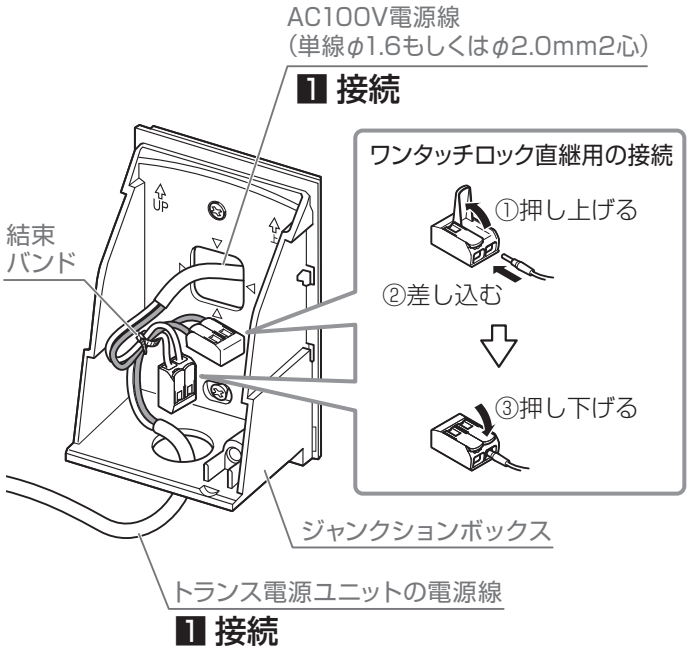
施工上のお願い

●ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。
●木造の構造体に固定する場合、現場の状況に合わせて現場でねじを手配してください。

3-3 プラグレスタイプの場合

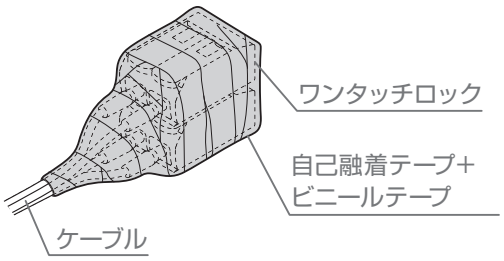
※AC100V電源の配線工事は電気工事士の資格が必要です。

1:ジャンクションボックス内にてワンタッチロック直継用でAC100V電源線とトランス電源ユニットの電源線を接続



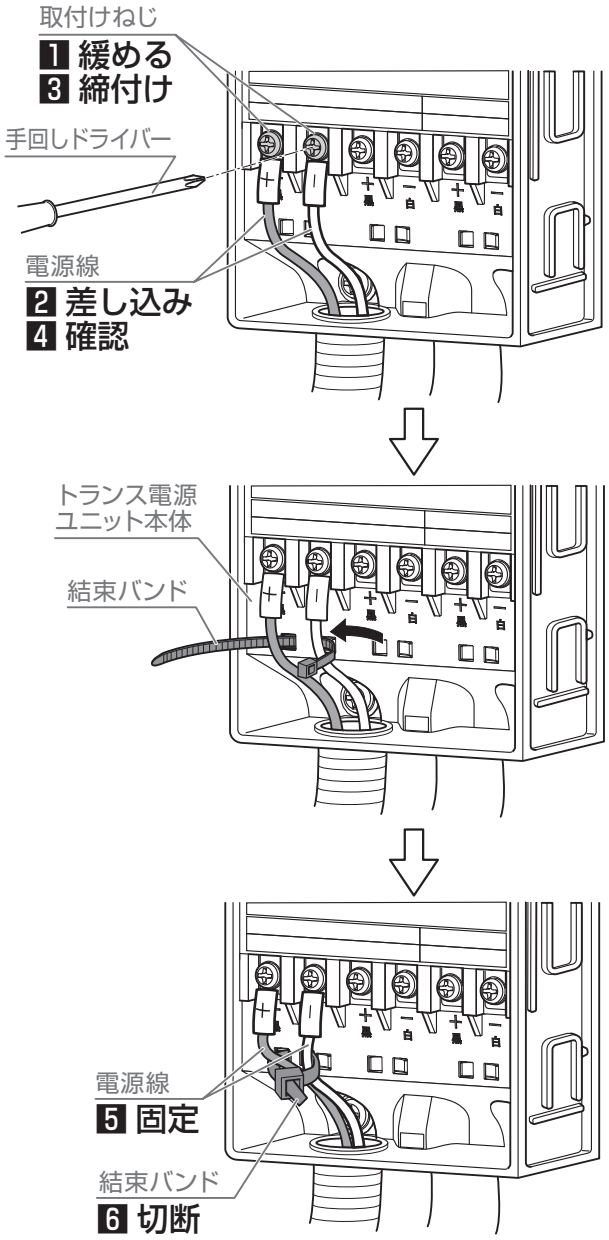
⚠ 警 告

●電源線の差し込みが不十分な場合、絶縁不良による火災、感電のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・電源線の差し込みは奥まで十分に行ってください。
・ワンタッチロック直継用は、自己融着テープとビニールテープで防水処理をしてください。



3-4 配線の取付け

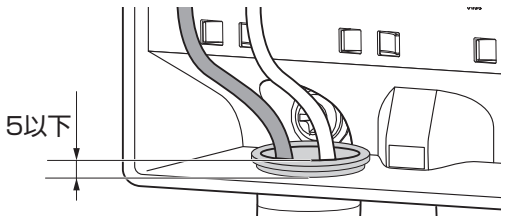
1:出力端子の取付けねじを手回しドライバーで緩める
2:電源線を差し込み
3:取付けねじを締付け
4:電源線が外れないことを確認
5:電源線を結束バンドでトランス電源ユニット本体に固定
6:結束バンドの余りを切断



※イラストは35Wで表しています。

施工上のお願い

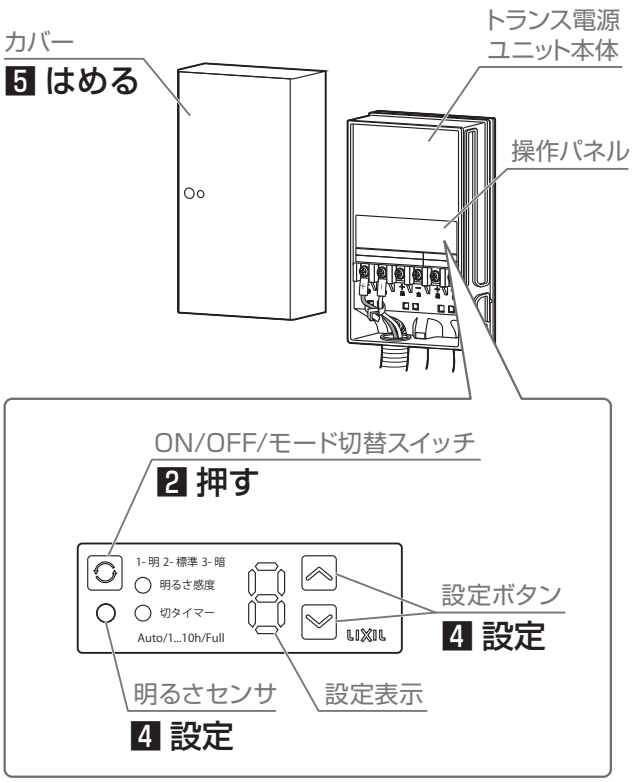
●電源線にたるみをもたせ、取付け部分に力がかからないようにして固定してください。
●配管部材の差し込みは5mm以下としてください。



●1端子当たり電源線1本の接続にしてください。カバーが最後まで閉まらない可能性があります。

4 点灯確認と機能説明(設定方法)

1:差し込みプラグを屋外用コンセントに差し込み
2:ON/OFF/モード切替スイッチを１回押す
（「切タイマー」のランプが点灯）
3:接続した照明器具が点灯するか確認
※点灯しない場合、再度配線を確認
4:操作方法を参考に、タイマー、明るさ感度を設定
5:カバーをはめる



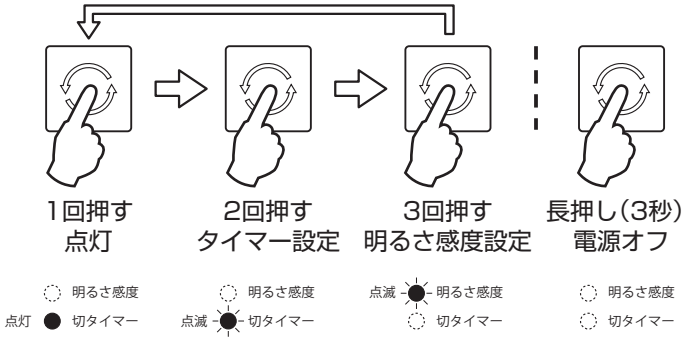
施工上のお願い

●明るさセンサは、明るさを約4秒検知すると、点灯・消灯します。
●カバーは本体下面までスライドさせてください。防水性能が低下し、不具合の原因となります。

■操作方法

ON/OFF/モード切替スイッチで、設定の切替ができます。

●点灯:　タイマー設定で設定された時間点灯します。
●タイマー設定:　切タイマーのLEDが点滅し、設定ボタンで点灯時間の設定ができます。
●明るさ感度設定:　明るさ感度のLEDが点滅し、設定ボタンで明るさ感度の設定ができます。



※5秒間操作しないと、「設定表示」が消灯し、「切タイマー」ランプが点灯状態になり設定が完了します。

■点灯時間の設定/タイマー設定

操作方法	変 移	設定表示	内　　容
	A	A	明るさセンサによって点灯、消灯します (自動点灯)
	0	0	明るさセンサによって点灯してから、10時間後に消灯します
	9	9	明るさセンサによって点灯してから、9時間後に消灯します
	8	8	明るさセンサによって点灯してから、8時間後に消灯します
	7	7	明るさセンサによって点灯してから、7時間後に消灯します
	6	6	明るさセンサによって点灯してから、6時間後に消灯します
	5	5	明るさセンサによって点灯してから、5時間後に消灯します
	4	4	明るさセンサによって点灯してから、4時間後に消灯します
	3	3	明るさセンサによって点灯してから、3時間後に消灯します
	2	2	明るさセンサによって点灯してから、2時間後に消灯します
	1	1	明るさセンサによって点灯してから、1時間後に消灯します
	F	F	明るさセンサの設定に関係なく、常時点灯します（初期値設定）

■明るさ感度の設定

操作方法	変 移	設定表示	内　　容	
	3	3	暗	点灯：周囲照度 約10Lx 消灯：周囲照度 約90Lx
	2	2	標準	点灯：周囲照度 約40Lx 消灯：周囲照度 約280Lx （初期値設定）
	1	1	明	点灯：周囲照度 約200Lx 消灯：周囲照度 約1100Lx

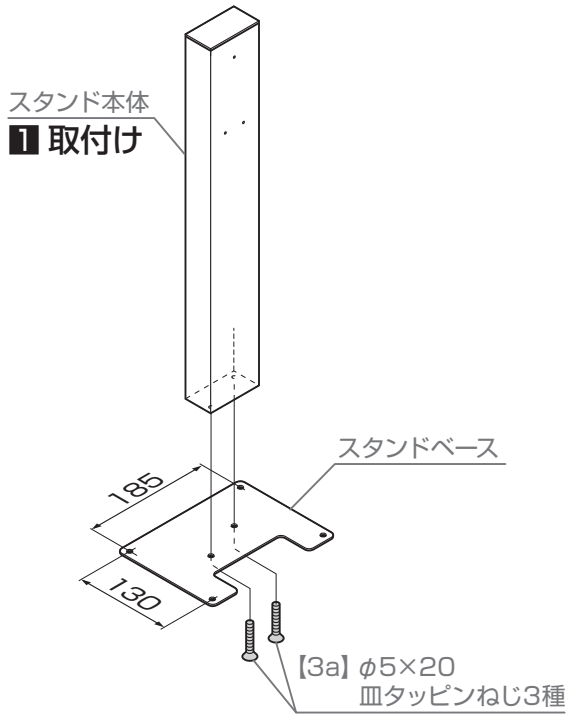
施工上のお願い

●実際の施工方法は以下の二次元コードからも確認できます。
●設置環境によっては明るさセンサーが正しく動作しない場合がありますので、設置場所を確認してください。
※明るさ感度「標準:2」で正しく動作しない場合は「暗:3」に変更してください。
※"家と家との間"や"壁の裏"など日が当たりにくい場所に設置する場合は
「暗:3」の設定にしてください。
※明るさ感度の変更に伴い、点灯、消灯するタイミングが変更となりますので、ご理解願います。

5 スタンドの組立てと取付け

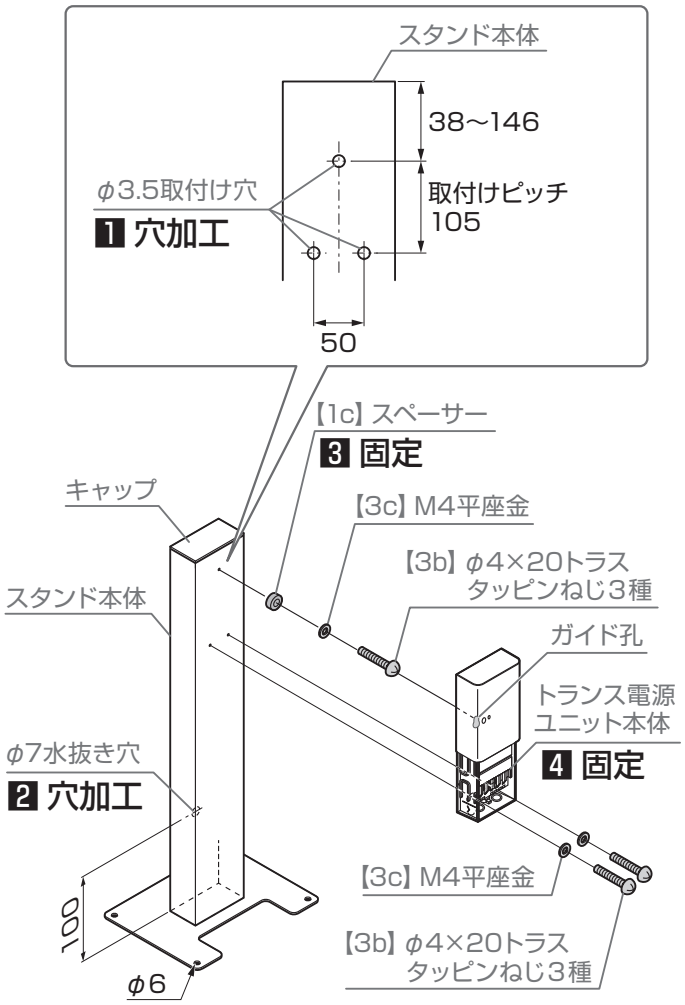
5-1 スタンドの組立て

1:スタンド本体をスタンドベースに【3a】2本で取付け



5-2 トランス電源ユニット本体の取付け

1:トランス電源ユニット本体を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置にφ3.5の下穴加工
2:スタンド本体の背面側にφ7の水抜き穴加工
3:【3b】【3c】で【1c】をスタンド本体に固定
4:トランス電源ユニット本体裏面上部のガイド孔に【1c】をはめ込み、【3b】【3c】でスタンド本体に固定



施工上のお願い

●風が強くスタンドが倒れるおそれがある場所へ設置する場合は、ベースのφ6穴を使用してアンカーボルト等(別途手配)で固定してください。

取説コード
EXM-199
JZZ641602B
202503_1049
202604B_1100